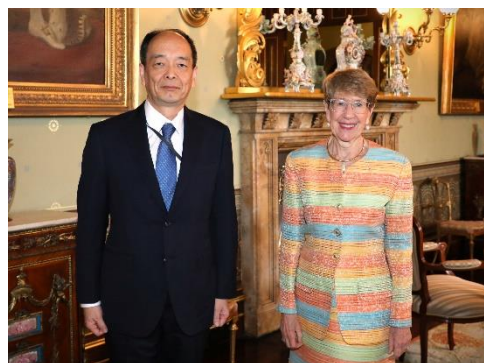


～シドニー着任～

10月18日に在シドニー総領事として着任した山中修です。

着任してから、一カ月余が経ち、NSW州並びに北部準州の政府関係者、当地で活動されている企業関係者、文化・芸術の普及や人的交流を支援されている方々にお会いするとともに、着任一週間でダボ市に出張し、美濃加茂市との姉妹都市35周年の式典に参加し、先週はカウラ市に伺い、日本人戦争墓地設置60周年行事に出席することもできました。



在シドニー総領事として今後さらに多くの方々と交流できることを楽しみにしています。そうした交流を通じて、日本とオーストラリアの幅広い関わりについて感じたことや考えたことを、「在シドニー総領事交流録」として今後ご紹介させていただくつもりです。前々任者、前任者が、それぞれ感じたことを詳しく書いているので、重複が多くなることはご容赦願いますが、両国の交流に長年携わられてきた方々をはじめ、皆様から、ご意見、ご助言、ご感想を頂ければ幸いです。

まず、これまでの交流を通じて実感したことを申し上げれば、日豪関係の緊密さの前提に、多くの方々がその関係強化に携われ、層の厚い友好関係が築かれていること、そして、その基底に戦後和解に向けた長年の積み重ねがあるということです。世界では新興経済国の存在感が大きくなり、それとの比較で、日本の存在感が小さくなってきているという声もありますが、シドニーで感じるのは、長年築かれてきた日本への信頼感が、コロナ禍の困難な時期を経て、経済関係のみならず、自由・民主主義、法の支配といった価値観の面でも、改めて確認され、むしろ存在感が大きくなった例ではと思いました。実際、NSW州内の高校で外国語として日本語を選ぶ生徒が最多となっていることや、豪州からの訪日観光客数が、新型コロナ前の水準までほぼ回復し、日本から豪州への観光客数の倍になっていることを知り、そうした感を強くしました。

当地における日本へのそうした高い関心を一層高めるべく、多くの関係者や関連団体の皆さまが日々ご活躍されています。そうした中で、今週、在シドニー日本関係3団体の方々とご一緒させて頂く機会がございましたので、今回は、すでにご存じの方が多いとは思いますが、こちらの3団体を取り上げさせて頂きたいと思います。

先ず、基本的なことをおさらいさせて頂くと、「シドニー日本クラブ（JCS）」は日本人定住者を中心とした会です。日本祭りなどイベントの主催、日本語学校の運営、チャリティー活動などを行っています。「シドニー日本人会（JSS）」は、シドニーに事務所を持つ日本企業・団体を中心とした会です。会員相互やオーストラリア人との交流のための文化・レクリエーション活動、日本人国際学校の運営協力などを行っています。「シドニー日本商工会議所（JCCI）」は、シドニーに拠点を置く167社・団体の会員企業で構成されています。講演会・セミナーの開催、業種毎の部会の活動、冊子「オーストラリア概要」の編集などを行っています。

これら3団体が相互に連携・協力し、各種行事を共催することで、シドニーの社会に深く根差す日本人定住者と、ビジネスの第一線で活躍する日本企業関係者が協働され、日豪関係を深化させていることに敬意を表したいと思います。この12月1日には、3団体の皆様が後援する「MATSURI JAPAN FESTIVAL 2024」に私も参加して、「オールジャパン」での当地での活動を実感して参ります。

これら3団体の関係者に加えて、当地で長年活動されている文化・芸術の普及や人的交流を支援されている方々やNSW州並びに州内の各市と姉妹都市提携を結ばれている日本の地方自治体の方々、そしてNSW州並びに北部準州の政府関係者の方々との更なる交流を通じて、自分なりに日豪関係の深化に少しでも貢献したく、皆様からのご意見、ご助言などを頂ければありがたく、よろしくお願い申し上げます。